



平成14年4月2日  
日本原子力発電株式会社

### 敦賀発電所2号機用新燃料の輸送について

当社、敦賀発電所2号機（加圧水型軽水炉：定格出力116万kW）は、本日、新燃料集合体8体を下記のとおり受け入れました。

#### 記

##### 1. 輸送年月日

平成14年	4月	2日	1時30分	原子燃料工業株式会社 発
				熊取事業所（大阪府泉南郡熊取町）
平成14年	4月	2日	7時00分	敦賀発電所 着

##### 2. 輸送数量等

新燃料集合体	8体
輸送容器	4個

##### 3. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

##### 4. 輸送方法

陸上輸送

以上

---

参 考 輸送における安全性について  
別 添 A型核分裂性輸送物の安全基準

## 輸送における安全性について

### 1. 輸送物の種類

A型核分裂性輸送物

### 2. 輸送容器の概要

型式：NFI-V型

形状：円筒形

寸法：長さ約5m、外径約1m

重量：約3.7t（輸送容器だけで約2.4t）

材質：ステンレス製

### 3. 輸送物の安全確認

本輸送物については、別添に示す国の安全基準を満たすことを国の指定認定機関である（財）原子力安全技術センターにより確認されたものです。

### 4. 輸送上の安全対策

輸送にあたっては、車両等への積付け・標識等、輸送上の十分な安全対策を実施しています。

なお、万一緊急の事態が生じた場合にも、最寄りの消防・警察および経済産業省等に連絡するとともに、適切な措置をとることとしており、十分な安全対策を講じることとしております。

---

## A型核分裂性輸送物の安全基準

「核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」第59条の2に基づき、国が定めている、『A型核分裂性輸送物』に係わる技術上の基準の主なものは、以下のとおりである。

(1) 線量当量率

表面で 2.0ミリシーベルト/時以下

表面から1m離れた位置で、0.1ミリシーベルト/時以下

(2) 表面汚染密度

$\alpha$ 線を放出する放射性物質の場合、0.4ベクレル/cm<sup>2</sup>以下

$\alpha$ 線を放出しない放射性物質の場合、4.0ベクレル/cm<sup>2</sup>以下

また、A型核分裂性輸送物の試験条件には、

(1) 一般の試験条件

水の吹きつけ試験、自由落下試験、圧縮試験、貫通試験

(2) 特別の試験条件

9m落下試験、棒上の1m落下試験、耐火試験、浸漬試験

があり、これらの厳しい諸条件下においても、容器の健全性を維持し、臨界の防止を確保するよう、法令の基準値を満足することとなっている。

以上